



「目標を毎朝必ず目に触れさせる」

嶋津良智さん

(株)リーダーズアカデミー代表、シンガポール在住。アジアエックスにてコラム『上司につける薬』を連載中。
リーダーズアカデミー Webサイト www.leaders.ac

「元旦の計」立て方のポイント

いきなりこのテーマに反するようなのですが、僕は「今年は目標〇〇件」といった具体的な目標は立てないんです。ただ、僕の中で一生達成できない目標があって、それは「部下にいい影響を与えられるリーダーを一人でも多く育成し、より多くの会社の業績を伸ばすことで社会に貢献する」こと。僕自身、勝手にワガママなので(笑)、具体的な数値などで縛りを設けてしまうと、良いパフォーマンスを発揮できないことが自分で分かっています。そこで、もっと幅広い、いい意味でフジーな目標を設けて、それを目指して毎日目の前のことにベストを尽くすようにしています。自分をよく知った上で、自分に合った目標を立てることがポイントと言えるかもしれません。

「元旦の計」実行のポイント

目標を立てたものの、日々の業務に追われているうちに、目標に対する意識が薄れてしまうことが良くあるのではないかと思います。そこでおすすめしたいのは、毎日自分の目に触れるようにすること。僕の場合、毎日必ず見るスケジューラーを活用しています。スケジューラーで終日の予定は一番上に表示されるので、目標を終日の予定として書き込んでおくんです。また、タスクも終日の予定として入れていきます。その日にやれなかったタスクは、次の日に移します。中には何日も移し続けるタスクが出てきて、そうなるのと何とかして次の日には移さずに済むように工夫するようにもなります。

これは自分で初めて起業した平成5年(1993年)から続けていて、当時はちょうど出回り始めたばかりだった電子手帳を使っていました。紙の手帳でタスクを別の日に書き写すのは面倒ですが、電子手帳ならドラッグするだけ。これは画期的だと思いましたね。自分でしばらく使ってみて良かったので、社員にも全員持たせるようにしました。

現在僕のスケジューラーはiPhoneです。目標をその日の予定の一番上に表示させることで毎日目に触れさせていることが、良い刷り込み効果にもなっていると思います。